

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Prognostic factors in metastatic melanoma: a pooled analysis of Eastern Cooperative Oncology Group trials.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	CQ18－10	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (II)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Clin Oncol.(11078491)	
	雑誌 ID		
	巻	18	
	号	22	
	ページ	3782-93	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Manola J,	Dana-Farber Cancer Institute, Boston, MA 02115, USA.
その他著者 1		Atkins M,	
その他著者 2		Ibrahim J,	
その他著者 3		Kirkwood J.	
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	病期 IV 悪性黒色腫患者の予後因子を調べる
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	25 年間 Eastern Cooperative Oncology Group (ECOG) で検討された 8 つの臨床試験に参加した 1362 名について予後因子を解析した。死亡に関わる重要な予後因子は、転移臓器数、ECOG の PS、転移臓器（消化管、肝臓、胸膜、肺）、免疫療法、性、alkaline phosphatase, lactate dehydrogenase (LDH)、血小板数。
	結論	予後に関与する血液検査データは、臨床試験の層別化に使用するために病期の決定因子として採用を検討すべきだ。i
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (II) 結果には、肝転移は悪い予後因子であり (RR=1.44)、肝臓に転移がある場合の生存期間中央値は 3.9 月、ない場合は 7.7 月と記載されている。